区分・種別	重要文化財(石造物)		
名　　称	おおやまづみじんじゃほうきょういんとう 大山祇神社宝篋印塔　　３基		
所　在　地	今治市大三島町宮浦		
所　有　者	大山祇神社	管 理 団 体	
指定年月日	昭和27年11月22日		
解　　説	大山祇神社の境内に、一遍上人(いっぺんしょうにん)由縁と伝えられる宝篋印塔が３基並んでいる。いずれも花崗岩製で中央のものが一番大きく、蓮弁(れんべん)を基礎下と上２段に備え合わせて３段にした造りである。また相輪(そうりん)上部の請花(うけばな)は逆にたれさがり特異な形をとっている。総高394cm余りである。 両側の２基は、中央のものよりやや小形であり、左端のものは３基の中で最も簡素な造りであるが、いずれも極めてよく均整のとれた容姿で、様式、技法すべてが鎌倉時代の特色を備えている。		